

経営比較分析表（令和2年度決算）

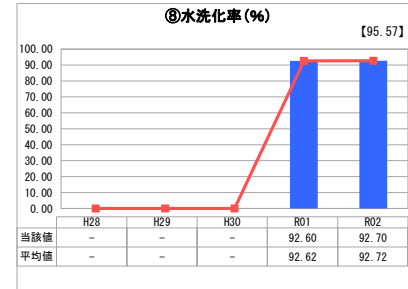
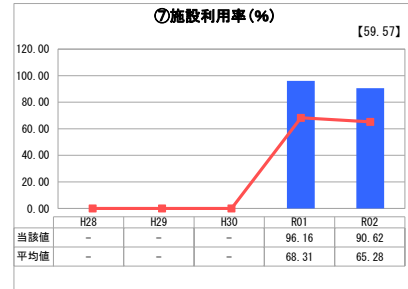
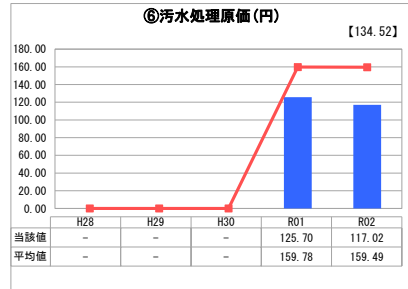
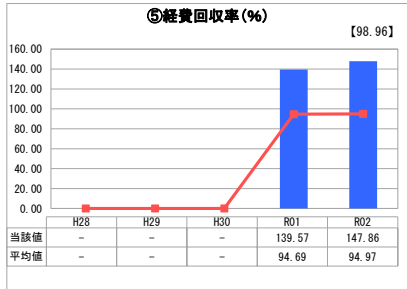
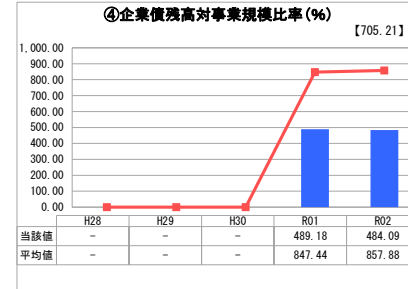
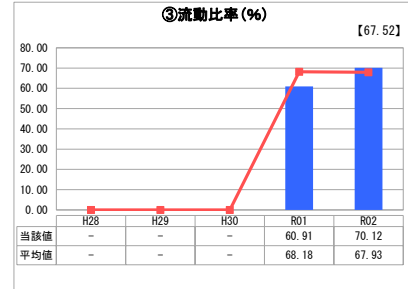
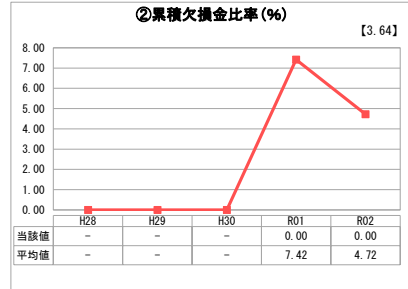
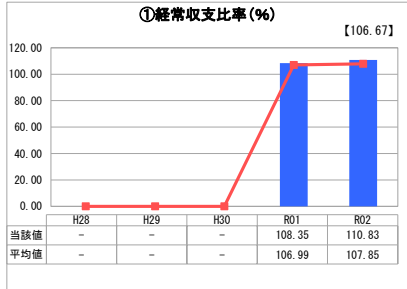
千葉県 茂原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.41	34.83	71.56	3,080

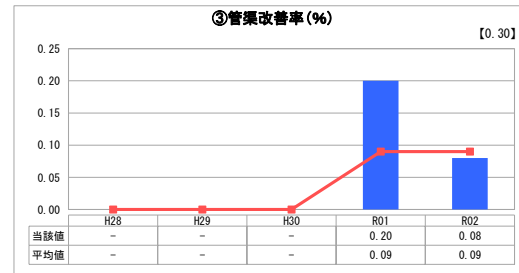
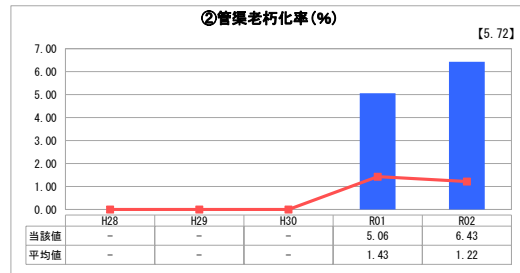
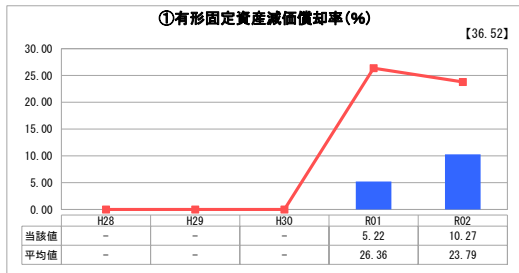
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
88,280	99.92	883.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,676	8.25	3,718.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超えているが、今後も健全経営を続けていくための更なる費用の削減等に努める。
 ② 流動比率は100%未満であるが、流動負債には建設改良費等の財源に充てるための企業債も含まれている。
 ③ 経費回収率については、水害の影響による処理場機能の低下に伴い汚水処理費が一時的に減少したため高くなっている。
 ④ 汚水処理原価については、汚水処理費の一時的な減少により低くなっている。
 ⑤ 施設利用率については、平均値を上回っており、施設の利用状況は適正であると考えられる。
 ⑥ 水洗化率については、平均値並みであるが水洗化促進の取組を継続し、水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

昭和47年の供用開始以降50年近くが経過し、処理場・ポンプ場の施設及び管渠等の老朽化が進行している中で、ストックマネジメント計画に基づき、改築修繕を実施している。

全体総括

令和元年度に起こった水害の影響は、令和2年度の決算にも影響しているが、経年比較や類似団体との比較等により現在の置かれている状況を把握・分析し、経営の健全化に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。